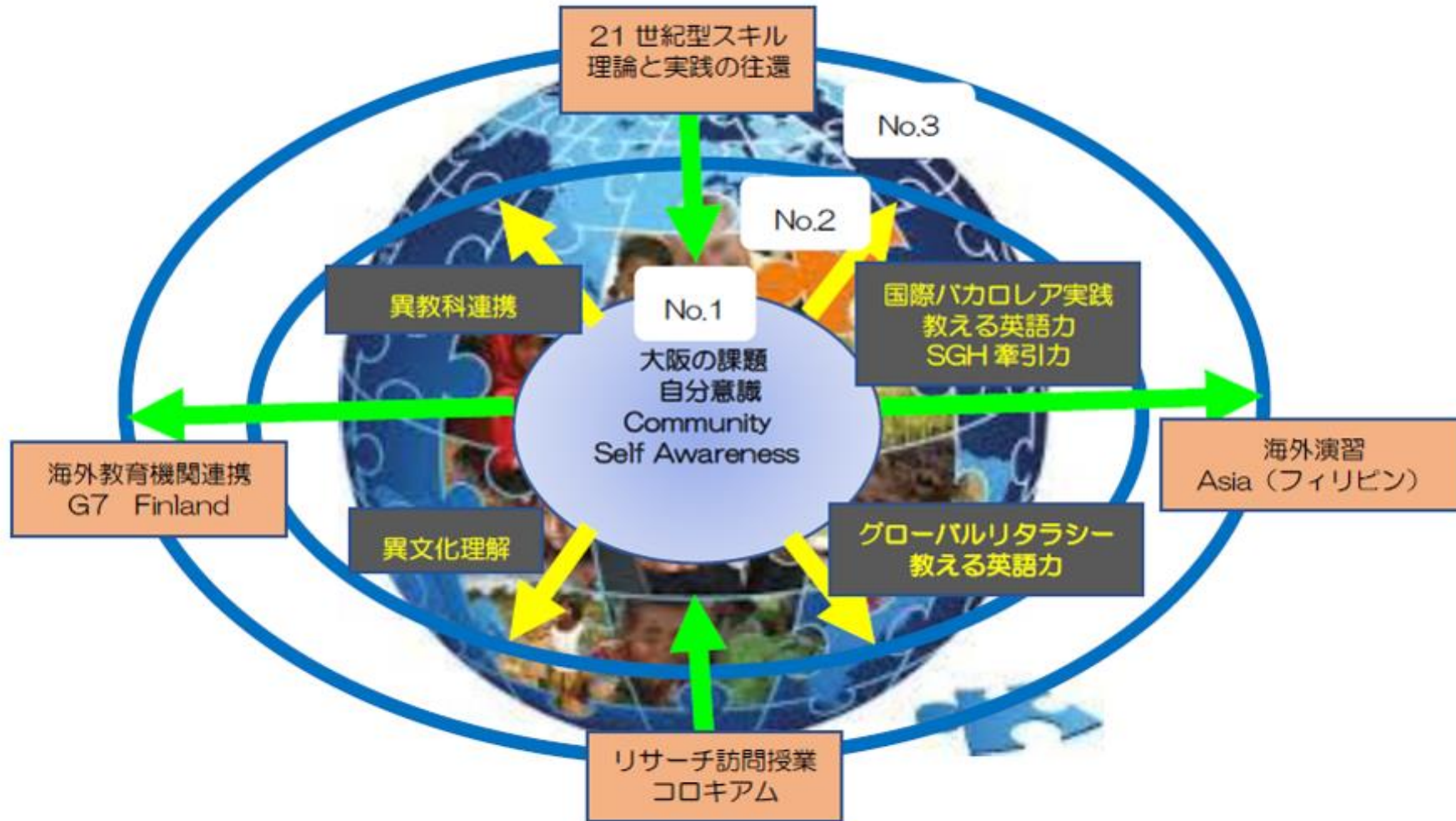


グローバルスクールプログラム No.1-No.2-No.3



担当 柏木賀津子 田中満公子

グローバルスクール プログラム 3 講義

1. グローバル時代の教師 (M1後期)

グローバルスクール・リーダーとして理論知と実践知を獲得する。

- (1) 国際社会の動向と世界のグローバル教育
- (2) グローバル教育の概念、プログラムとその評価
- (3) 国際バカロレア、SGH指定校のカリキュラムや運営
- (4) 国内外の文献・データを収集し批判的に分析し、
自校の課題を据えて、グローバルプログラムを作成する(ポスター)

その上で、「グローバル教師21世紀型スキル育成」の指標を活用する。

+ 学習開発研究演習 (英語)

こちらは小学校英語 中学校英語 授業創り・SLAとCLILの基礎) M1 & M2 どちらでも 前期水曜6限

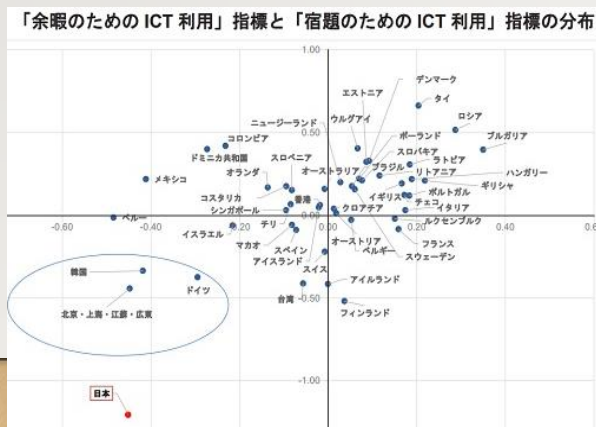


2. グローバル・リテラシー育成 (M2 前期・)

グローバル教育を牽引する教師としての資質や言葉のスキルを身に付ける。

- (1) 国内外のPISA型学力の文献やデータの分析
- (2) 英語等をもちいた幅広い表現力、ディスカッション (留学生やネイティブとも協働)
- (3) 異教科・異専門連携のCLIL授業・国際バカロレアWS方法について学ぶ
- (4) CLIL(内容言語統合型学習)とSTEAMの授業やプロジェクトを、教科連携で行う。

学び方の「型を変え」、演習の自己省察について量的研究を行う。修了者に**海外プログラム** **海外学会**参加を案内することがある。(例:フィンランド オーストリア タイ ベトナム)・・・(時期は後期)



データを読む



ディスカッション・プレゼン



サイエンスCLIL (フィンランド実習)

3. グローバル・プログラム演習 M2後期

グローバルマインド育成プログラムを企画・運営できる教員を育成する。「グローバルマインドの育成」の指標を実際に活用し、アジア等の海外教育機関と連携したグローバルマインド育成プログラムの協働開発を行う。

- (1) 訪問先でのインタビューや授業実践を行う
- (2) 21世紀の地球上でおこる教育問題や貧困問題などの課題を解決するプログラムデザインを開発し実行する。
- (3) スクールマネージメントの視野から、幅広いプログラムを創生する(先進的例を見学含む)

これらプログラム開発全体の可能性や効果について、質的研究法を用いて実証的に省察する。自治体や教育委員会などとの成果共有を行う。



NPO/Entrepreneurship



フィリピン実習「ATT」の授業



パヤタス地区インタビュー・質的研究

